

十勝教育研究所 協力員研究



他者を尊重し、 責任をもって行動する子どもを育む研究





担当所員

粂山 修斗
Momiya Shuto



Chiba Naoya
千葉 直哉



研究アドバイザー

十勝教育局教育支援課
学校教育指導班 指導主事

安 食 正 人

Ajiki Masato





研究の詳細・資料等は、十勝教育研究所HPへ

十勝教育研究所

十勝教育研究所について 研究1 ご案内 刊行物 情報提供のページ 十勝の教育応援ページ 関連団体

> 令和7年度の研究のページ2

> 研究紀要アーカイブ

> 令和7年度共同研究 概要ページ

> 令和7年度共同研究 詳細ページ

> 令和7年度協力員研究 概要ページ

> 令和7年度協力員研究 詳細ページ3



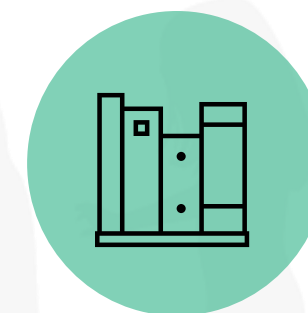
研究の詳細



指導案



発表スライド データ・参考文献等



目次

01

研究の概要

02

授業実践の紹介

03

研究の成果と課題

04

実態交流について

Table of
Contents

研究の概要



01

他者を尊重し、 責任をもって行動する 子どもを育む研究

～教科等横断的な視点に立った授業デザインと
意思決定につながる学習展開の工夫を通して～
(2か年継続研究 2年次)



学習の基盤となる資質・能力の育成



情報活用能力
(情報モラルを含む)

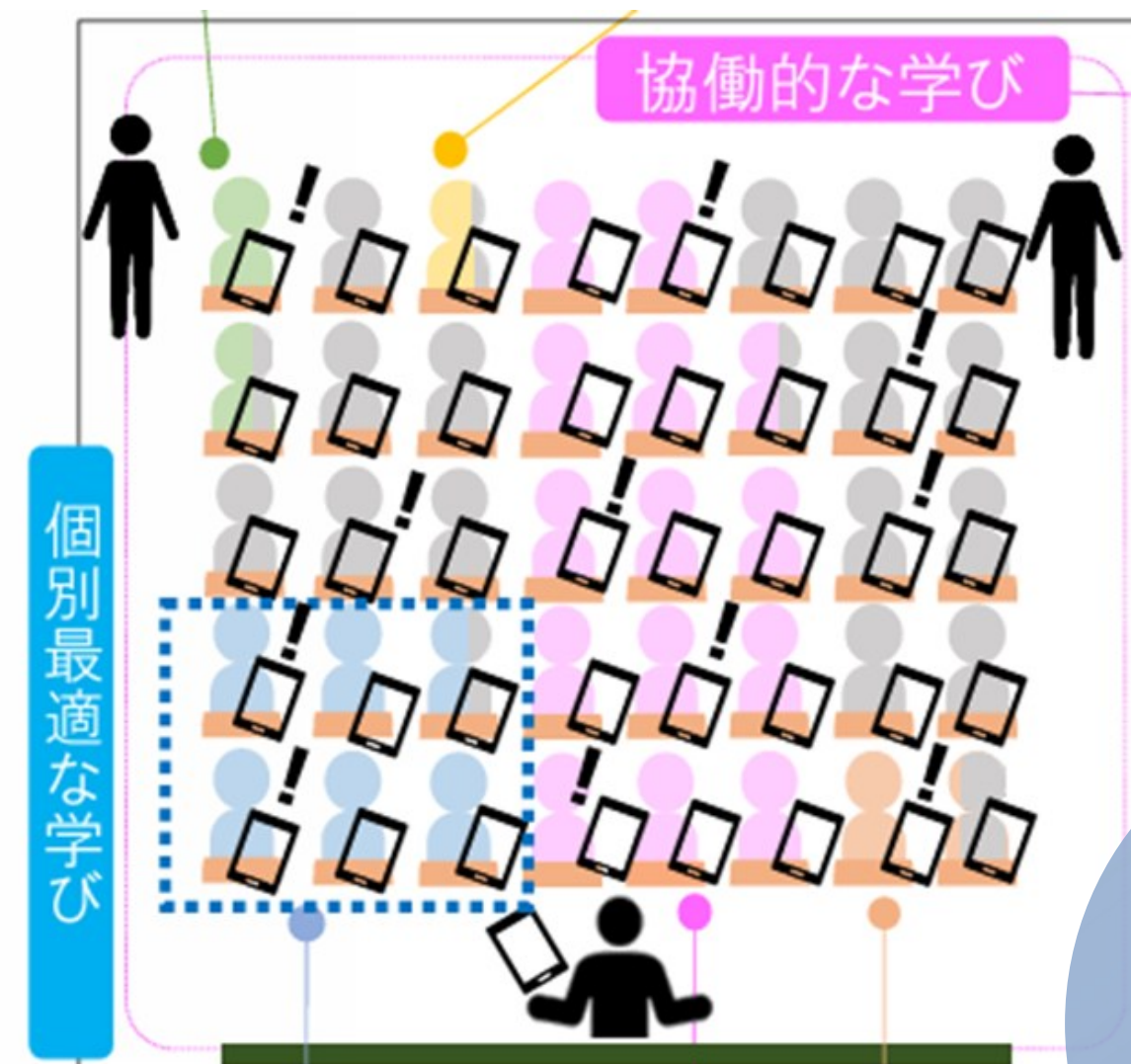
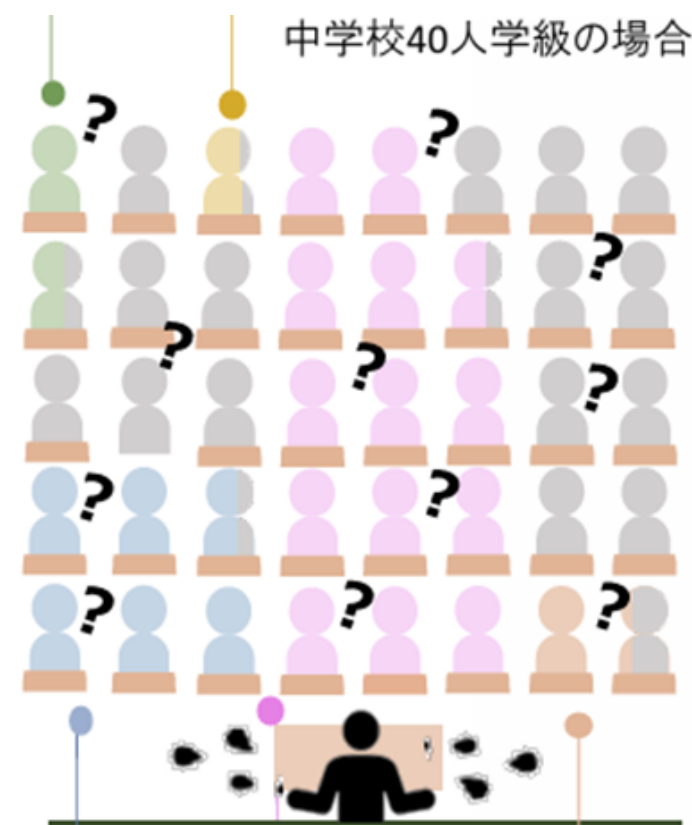


言語能力

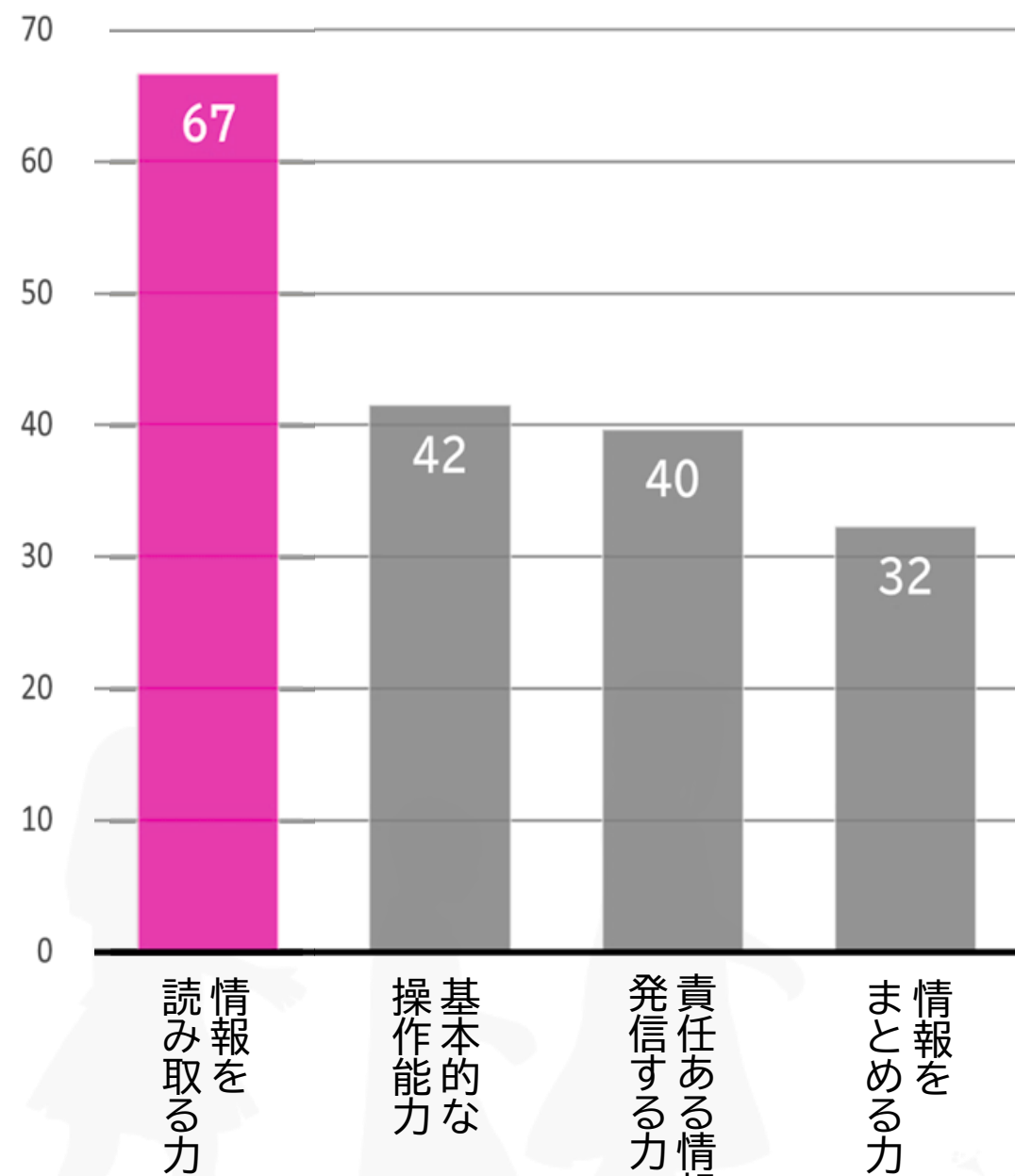


問題発見・解決能力

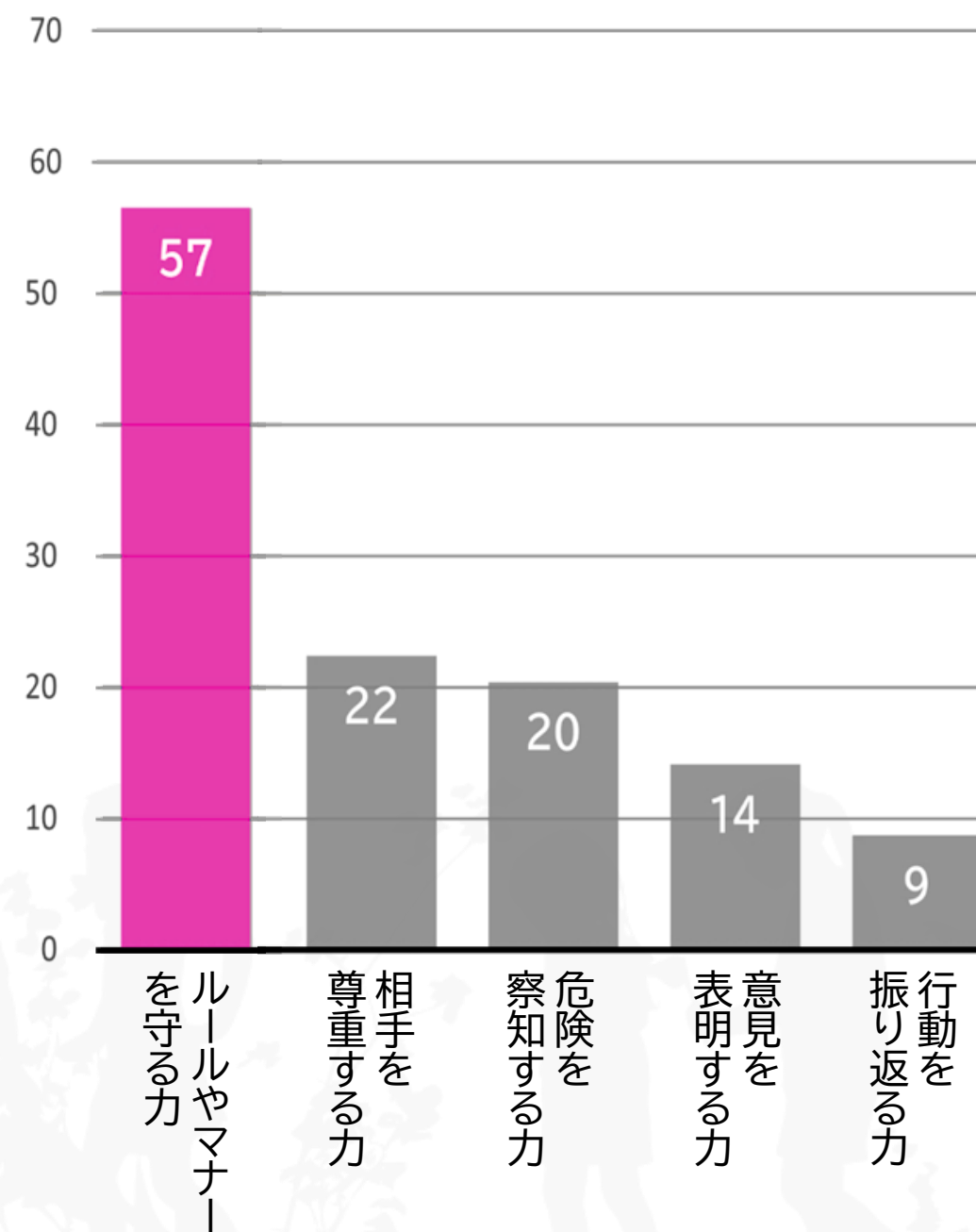
一人一人の多様な幸せ（Well-being）の実現のため



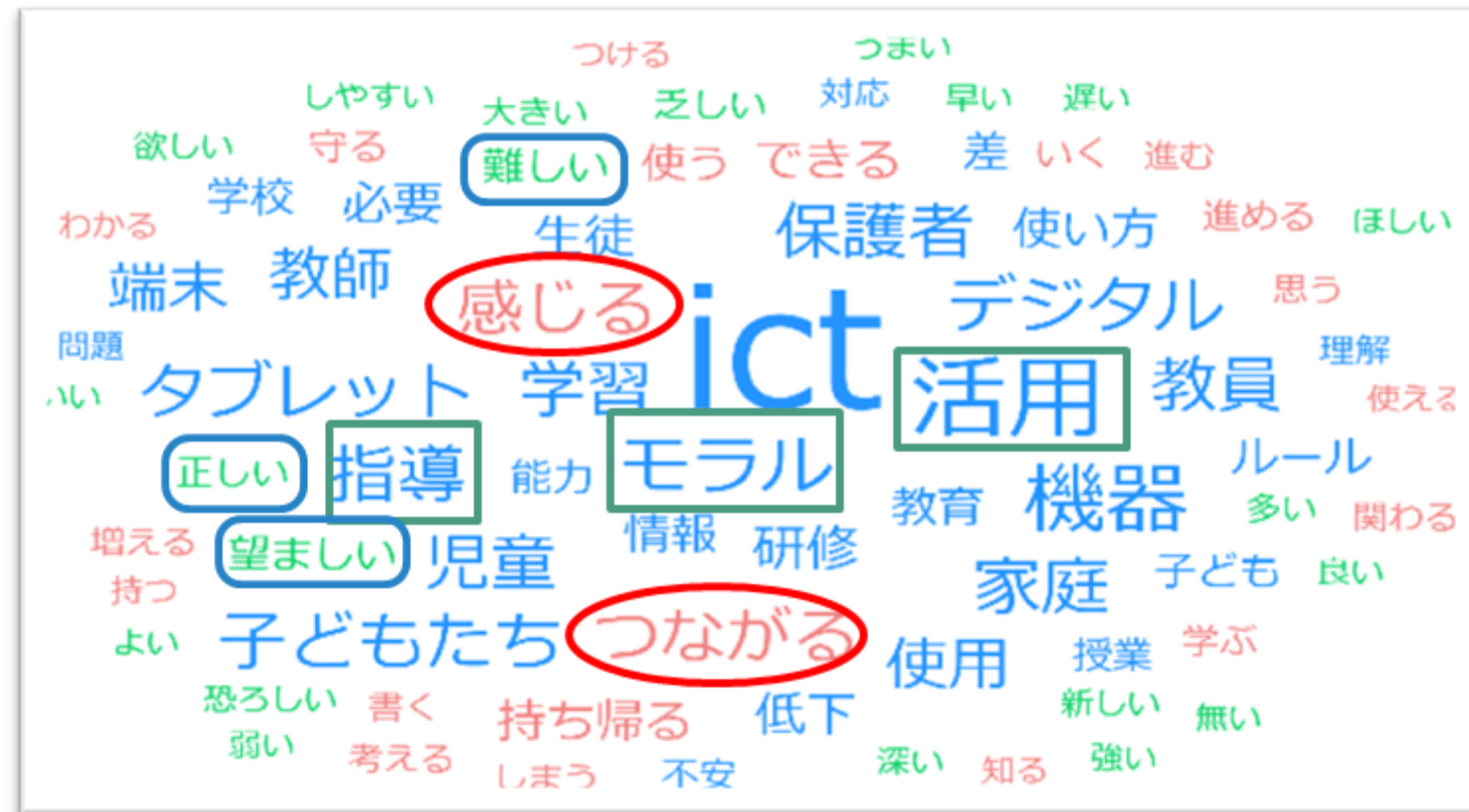
デジタル化が急速に進む中で、どのような力をつけることが必要と感じているか



①リテラシーに関する設問



②モラルに関する設問



ICTの活用は重要だが、一方で教師の指導力や保護者の理解、情報モラルの教育など、課題も多い。子どもたちの視力低下や健康への影響、情報の信頼性や適切な使い方の指導、機器の更新やトラブルへの対応などに不安がある。…中略… ICTの活用はバランスが重要であり、情報モラルやモラル教育の重要性も強調されている。…

解決の難しさ

他者意識
関わり方への必要感



情報モラルの育成に関する 課題や教師がもつ不安

デジタル世界の特徴

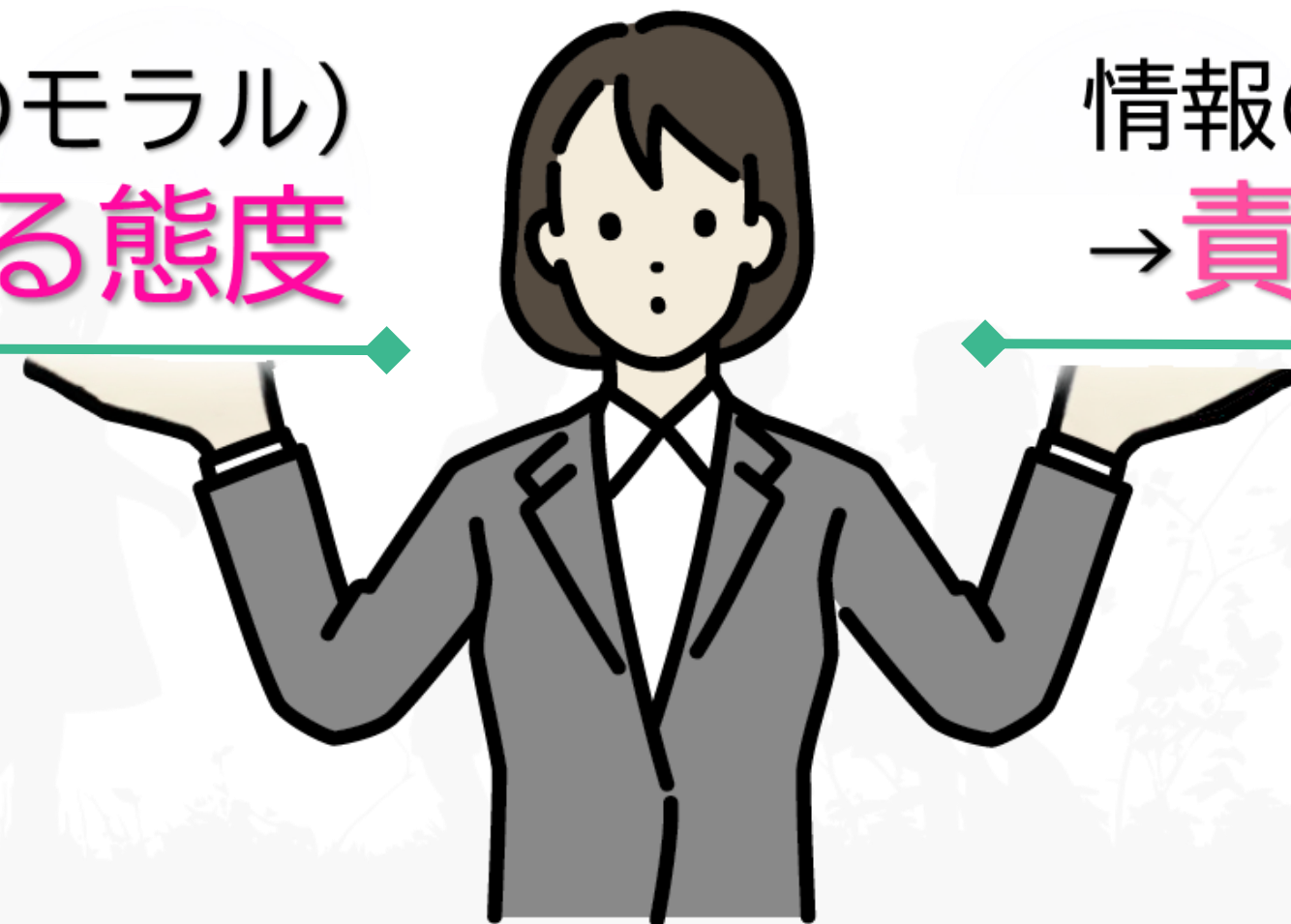
画面の向こうにも人



文字でのやり取り

他者の存在を意識
(日常のモラル)
→ **他者を尊重する態度**

情報の整理、分析、判断
→ **責任をもった行動**



研究の仮説

特別活動を中心に据えながら、
教科等横断的な視点に立ち、題材に合わせて各教科等と連携する工夫や
意思決定につながる学習展開の工夫を通して、
他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育むこと

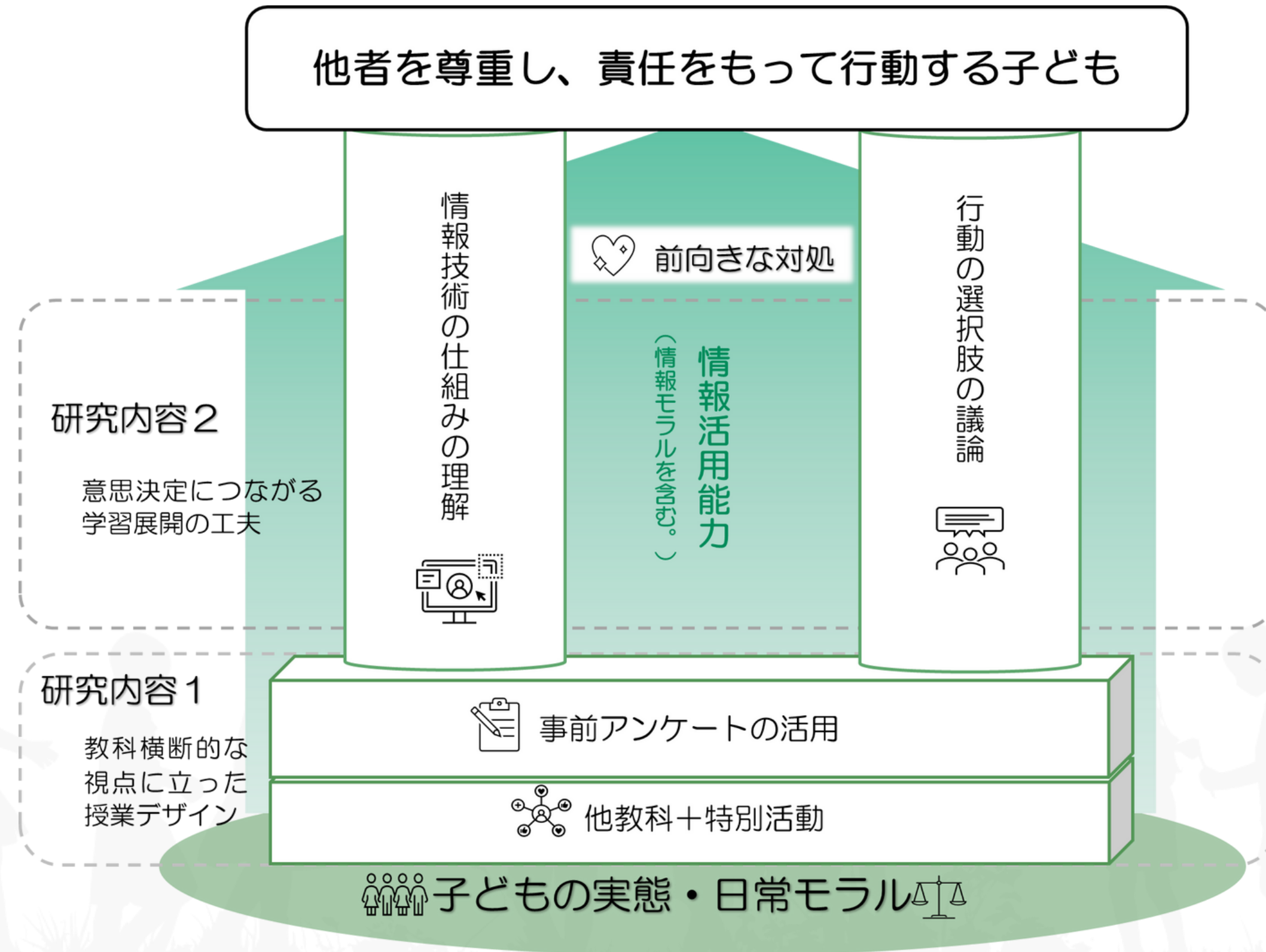
研究の内容

1

教科等横断的な視点に立った
授業デザイン

2

意思決定につながる学習展開



他者を尊重し

責任をもって行動する



多様な他者を理解



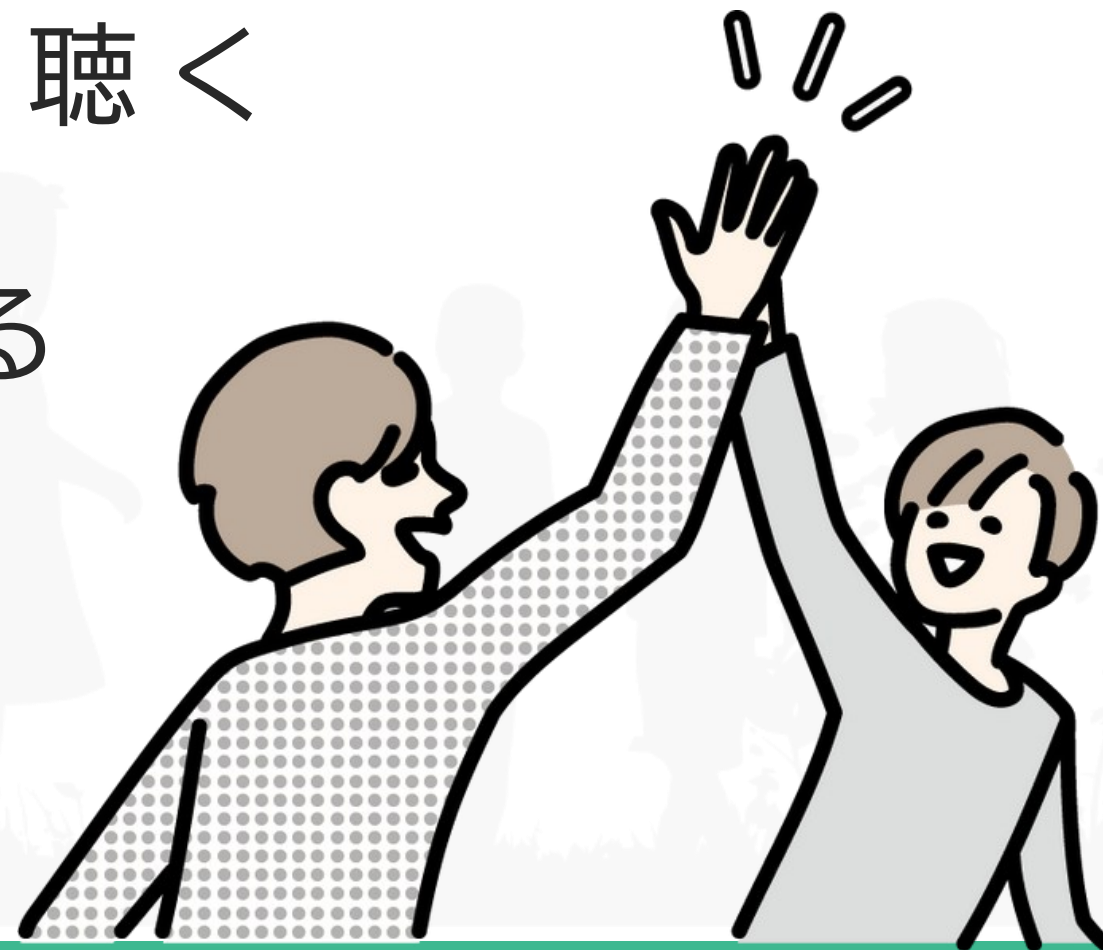
自らを律する

相手の意見を聴く

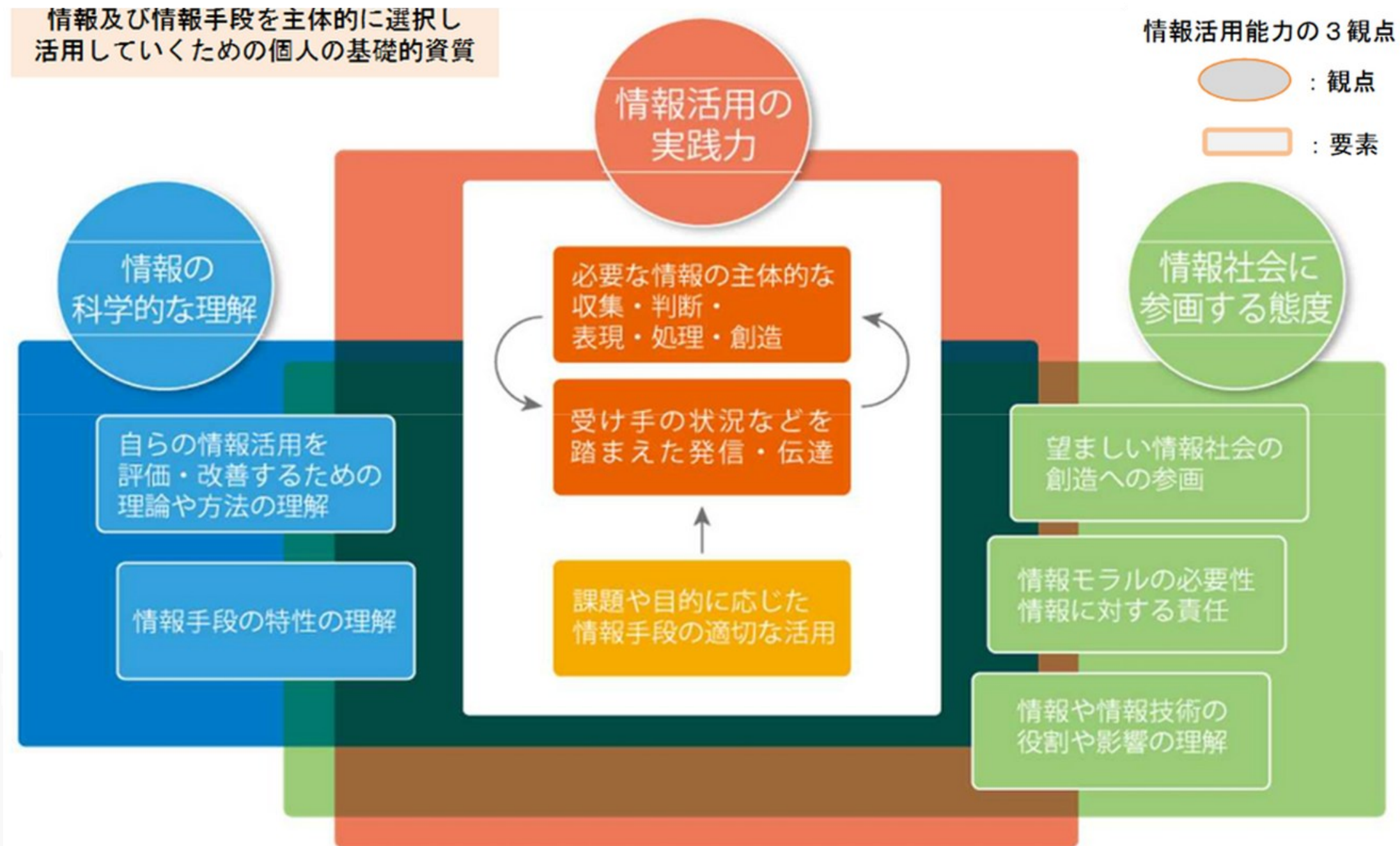
振り返る能力を
身に付ける

考えを正確に伝える

よりよい行動を
考えることができる



情報活用能力



情報モラル

情報モラルとは	情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度			であり、
具体的には	他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと	犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること	コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること	などである。
このため、	情報発信による他人や社会への影響について考えさせる学習活動 ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味について考えさせる学習活動 情報には自他の権利があることを考えさせる学習活動 情報には誤ったものや危険なものがあることを考えさせる学習活動 健康を害するような行動について考えさせる学習活動			などを通じて、児童に情報モラルを確実に身に付けさせるようにすることが必要である。
その際	情報の収集、判断、処理、発信など情報を活用する各場面での情報モラルについて学習させることが重要である。			
また、	情報技術やサービスの変化、児童のインターネットの使い方の変化に伴い、学校や教師はその実態や影響に係る最新の情報の入手に努め、それに基づいた適切な指導に配慮することが必要である。			
併せて	児童の発達の段階に応じて、例えば、インターネット上に発信された情報は基本的には広く公開される可能性がある、どこかに記録が残り完全に消し去ることはできないといった、情報や情報技術の特性についての理解に基づく情報モラルを身に付けさせ、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが重要である。			
さらに	情報モラルに関する指導は、道徳科や特別活動のみで実施するものではなく、各教科等との連携や、さらに生徒指導との連携も図りながら実施することが重要である。			

情報モラル

情報モラルとは 情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度 であり、

情報モラルとは 情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度 であり、

このため、 情報発信による他人や社会への影響について考えさせる学習活動

具体的には	他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつこと	犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること	コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解すること	などである。

ある。

また、 情報技術やサービスの変化、児童のインターネットの使い方の変化に伴い、学校や教師はその実態や影響に係る最新の情報の入手に努め、それに基づいた適切な指導に配慮することが必要である。

併せて 児童の発達段階に応じて、例えば、インターネット上に発信された情報は基本的には広く公開される可能性がある、どこかに記録が残る完全には消し去ることはできないといった、情報や情報技術の特性についての理解に基づく情報モラルを身に付けさせ、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが重要である。

さらに 情報モラルに関する指導は、道徳科や特別活動のみで実施するものではなく、各教科等との連携や、さらに生徒指導との連携も図りながら実施することが重要である。

情報モラルを発揮するのに必要な要素

日常モラル「心」

節度



思いやり・礼儀



正義・規範



思慮



「知」情報技術の仕組み



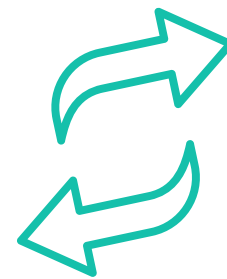
機器やサービスの特性



心理的・身体的特性



インターネットの特性



02

授業実践の紹介





幕別町立幕別小学校
石川 諒 教諭



足寄町立足寄中学校
井脇 功陽 教諭

教科等横断的な視点に立った授業デザインの工夫

事前アンケートの活用

題材に合わせた各教科等＋特別活動の組み合わせ

3 普段の生活の中やオンラインでのコミュニケーション、言葉を選んでいる

- ☐ よく選んでいる
- ☐ まあまあ選んでいる
- ☐ あまり選んでいない
- ☐ 選んでいない

この質問でその選択状況が



事前の
指導

学活
(2) (3)

事後の
指導

各教科等

各教科等

意思決定につながる学習展開の工夫

行動の選択肢の議論

意思決定



自己の考えの再形成

前向きな対処



AIのメリット・デメリット？
ディベート・その準備



生成AIの回答は
いつも正しいの？ 体験
交流

社会科
「情報産業と私たち」

総合的な学習の時間
(他県の学校との交流)

学習発表会

日常生活

生かす
振り返る

事前の
指導

事前アンケート
での実態把握

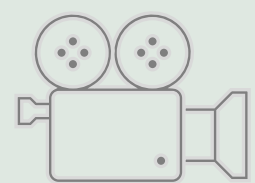
国語科
「AIとの暮らし」

学活
(3)

学級活動(3)
「生成AIとの
上手な付き合い方」

事後の
指導

行動の表出
見取り場面の設定



小学校 授業動画



その実験動画は
本当??

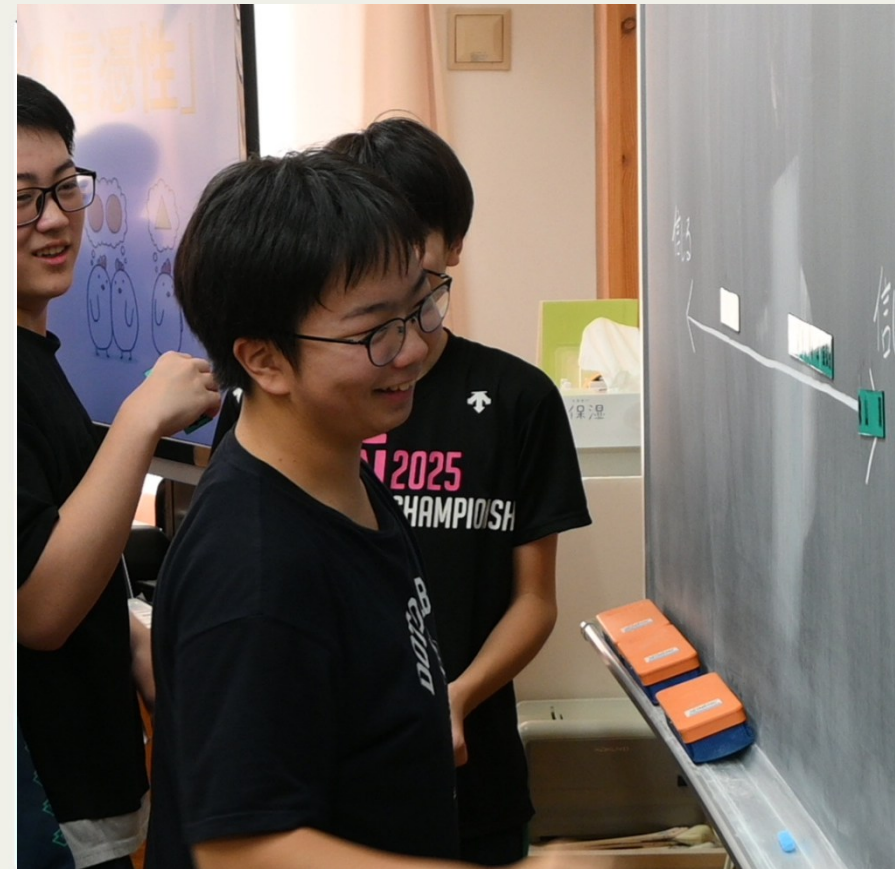
単元の学習を
使って動画を判定

事前の
指導

事前アンケート
での実態把握

理科
「質量保存の法則」

学活
(3)



信じる? 信じない? 体験
拡散する? しない? 交流

学級活動(3)

「情報の信ぴょう性について考える」

事後の
指導

行動の表出
見取り場面の設定

生かす

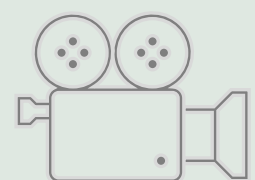
道徳科
「社会参画、公共の精神」

文化祭

職場体験学習

日常生活

振り返る



中学校 授業動画

03

研究の成果と課題



1

教科等横断的な視点に立った授業デザイン

2

意思決定につながる学習展開



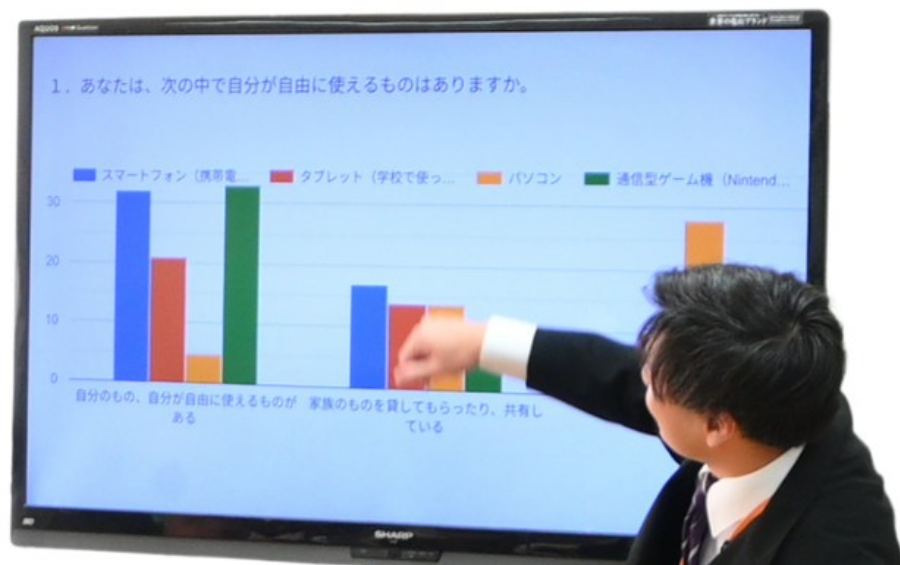
これらの工夫によって、
他者を尊重し、責任をもって行動する子ども
が育まれていたか

特別活動を中心に据えながら、教科等横断的な視点に立ち、題材に合わせて各教科等と連携する工夫や意思決定につながる学習展開の工夫を通して、他者を尊重し、責任をもって行動する子どもを育むことができるだろう。



03

研究内容1 教科等横断的な視点に立った授業デザインの工夫



実態に合わせた題材選定

導入で提示し、自分事に



体験、議論の充実



事前の指導の充実

学習基盤の強化



03

研究内容1 教科等横断的な視点に立った授業デザインの工夫



国語のディベートで、AIや生成AIについて調べる中で、ChatGPTなどには誤情報が含まれることがあると知っていたので、今日(学級活動)の学習で生かすことができました。

ディベートでもAIとの暮らしや共存の仕方について勉強してきたけれど、生成AIが間違った情報を伝えるということについては、ニュースでは見たことがあったけど実感はなかったので、学活で自分で体験してみて、AIってこんな感じなんだっていうのが理解できました。



03

研究内容2 意思決定につながる学習展開の工夫

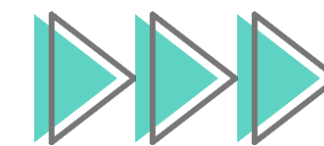


自分事にして

体験を通して



しょうどう自づに信いず”に、
公式や情報提供本を調べる



オンライン上でも
日常でも



日常モラルを発揮して

受取り方の違いを感じて



本当か？って1回録ってみる。

03

研究内容2 意思決定につながる学習展開の工夫

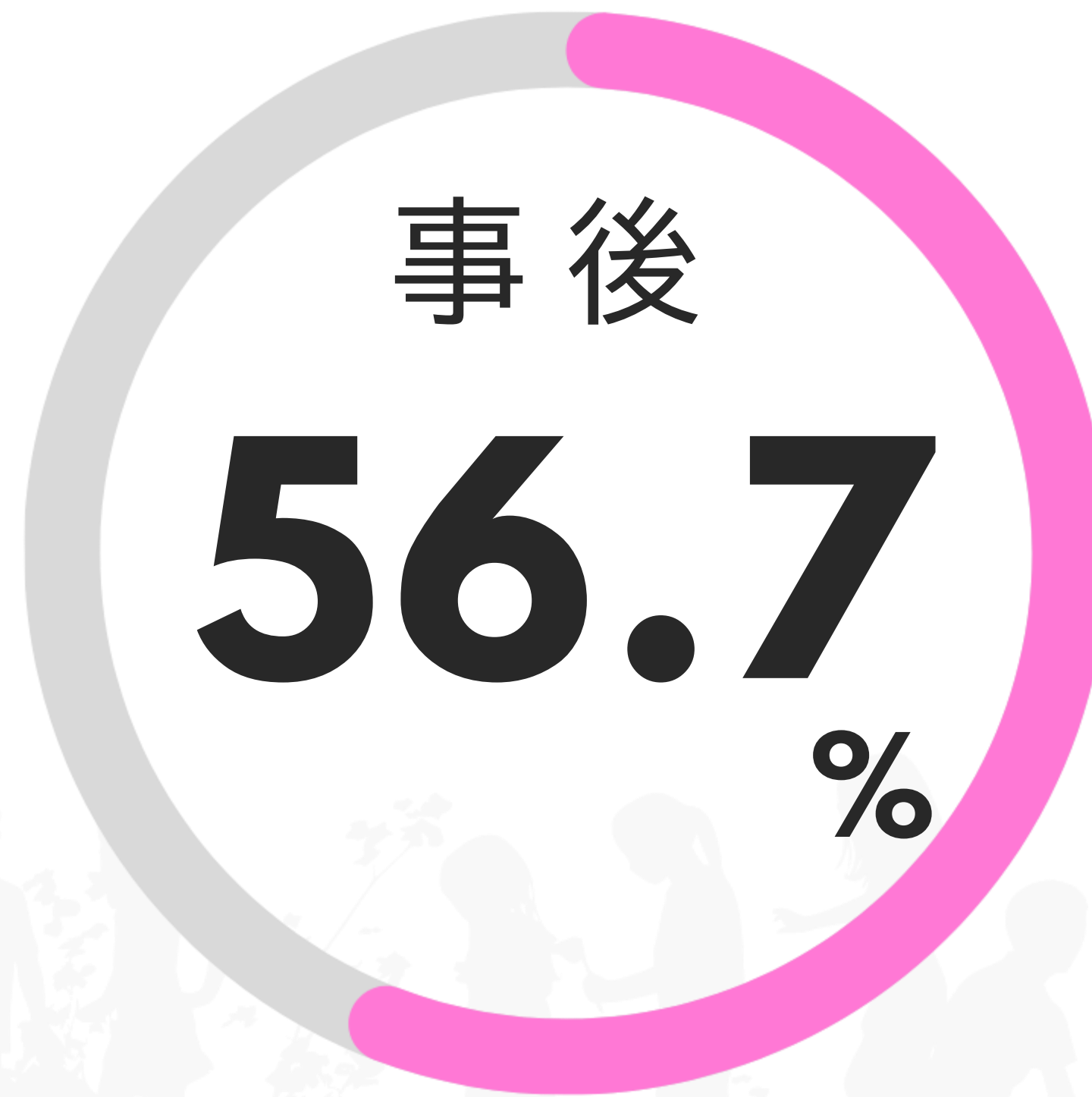
理科の学習の時は動画で、今回は文章で内容が違いましたが、どちらも情報をうのみにせず、複数の観点から内容を確認める大切さを改めて感じました。



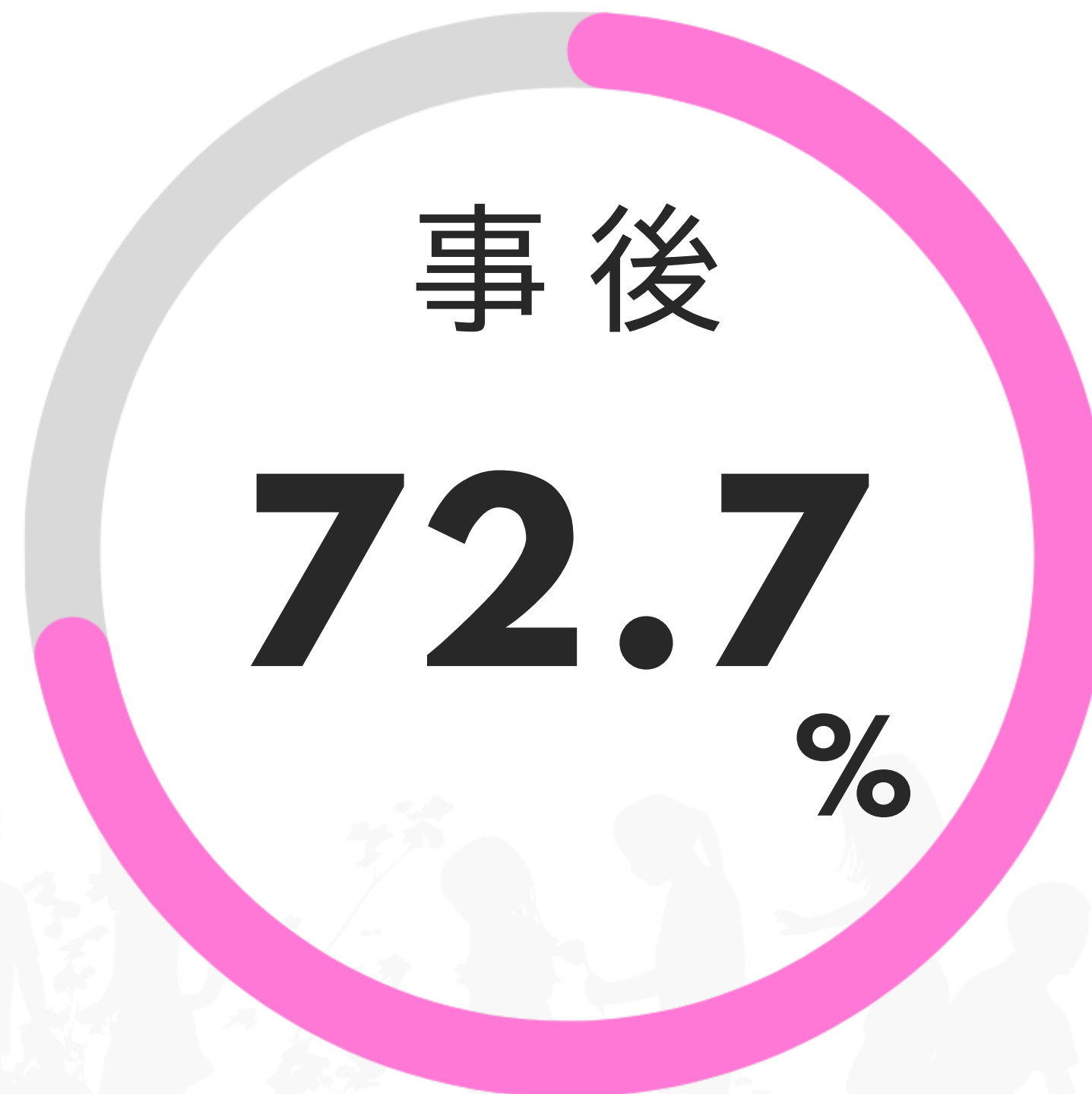
これから学校で噂されていることは本当に正しいことなのかとか、SNSやテレビなどで発信されていることはどのくらい信用しているのか、ということを考えながら生活をしていきたいと思います。



友達の意見や考えを
しっかり聴いている
(よく当てはまるを選んだ割合)

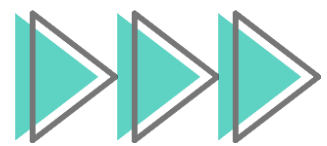


自分の行動を振り返って
次に生かしている



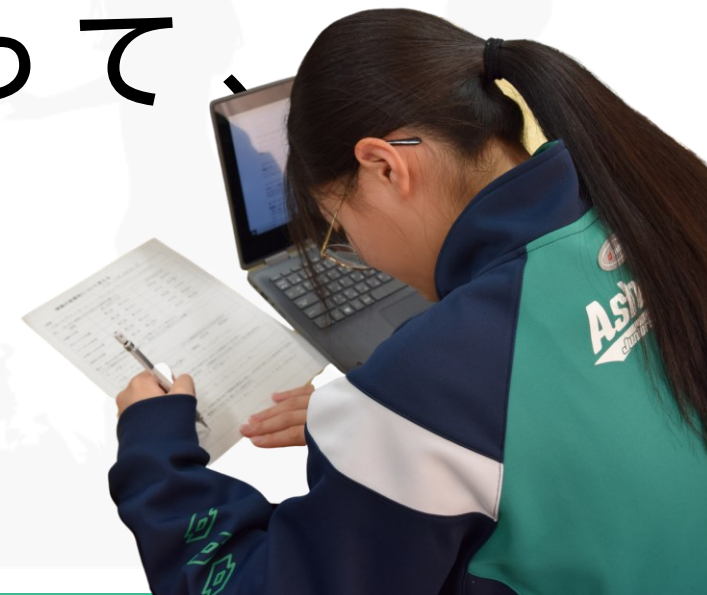
アンケート記述から

「相手に対する言葉遣いを気をつけるようになった」



「ちがう目線で物事を考えるのは社会に必要な力だと思った」

「自分の行動や発言、受け取り方によって、どんな影響が出るか考えて使いたい」



内容1

題材に合わせた各教科等＋特別活動の組み合わせ

各教科等の
内容と関連
させて

情報技術の仕組みの理解

内容2

子どもの
実態を
踏まえて

体験的な理解

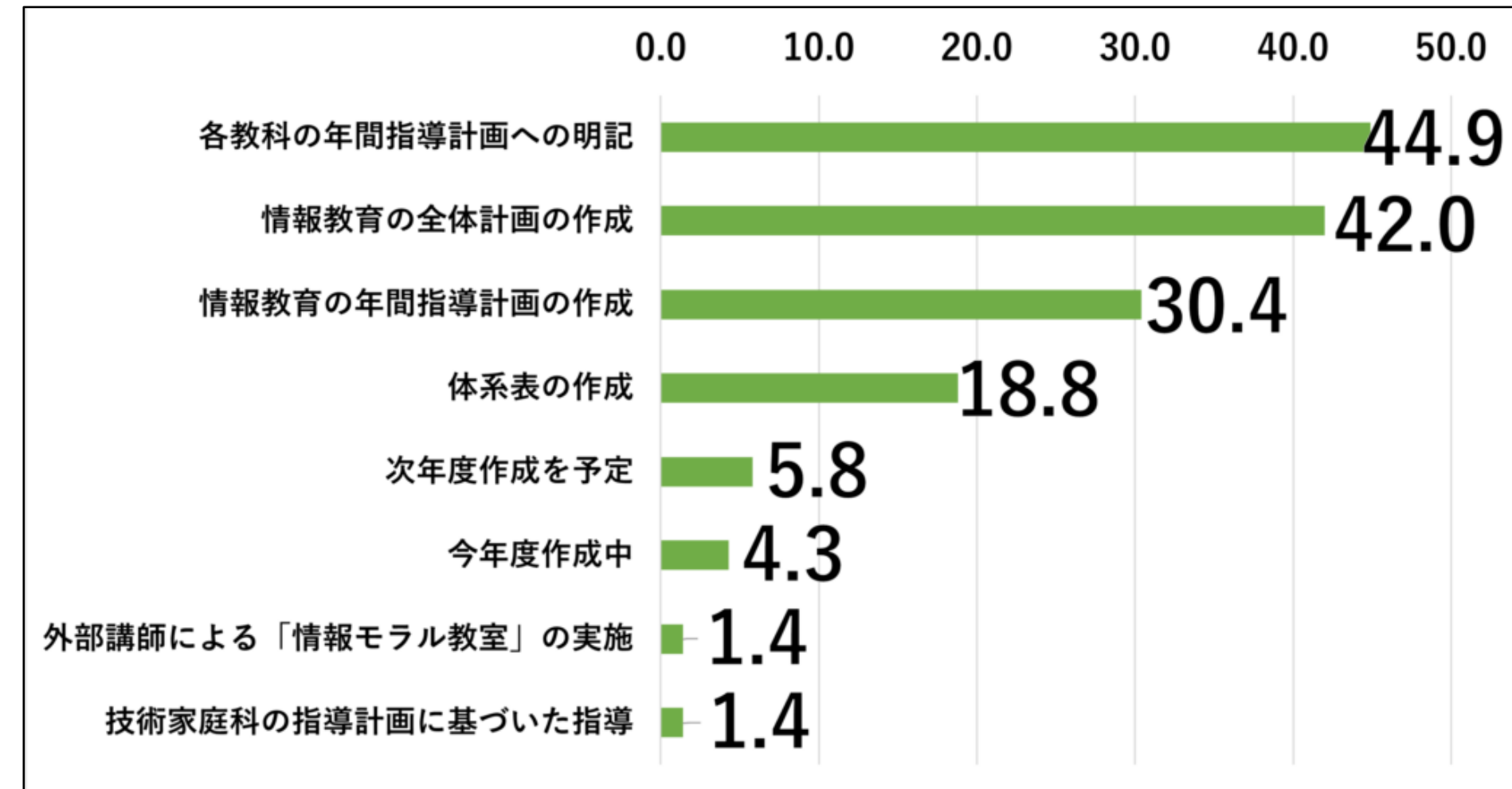


議論から意思決定

トラブルを未然に防ぐ

計画への
位置づけ

実態把握が不可欠

年間を
見通す必要関連付けの
難しさ

数字で見る十勝の教育令和6年第3回アンケート 「情報活用能力をどのようにして教育課程に位置付けていますか」より

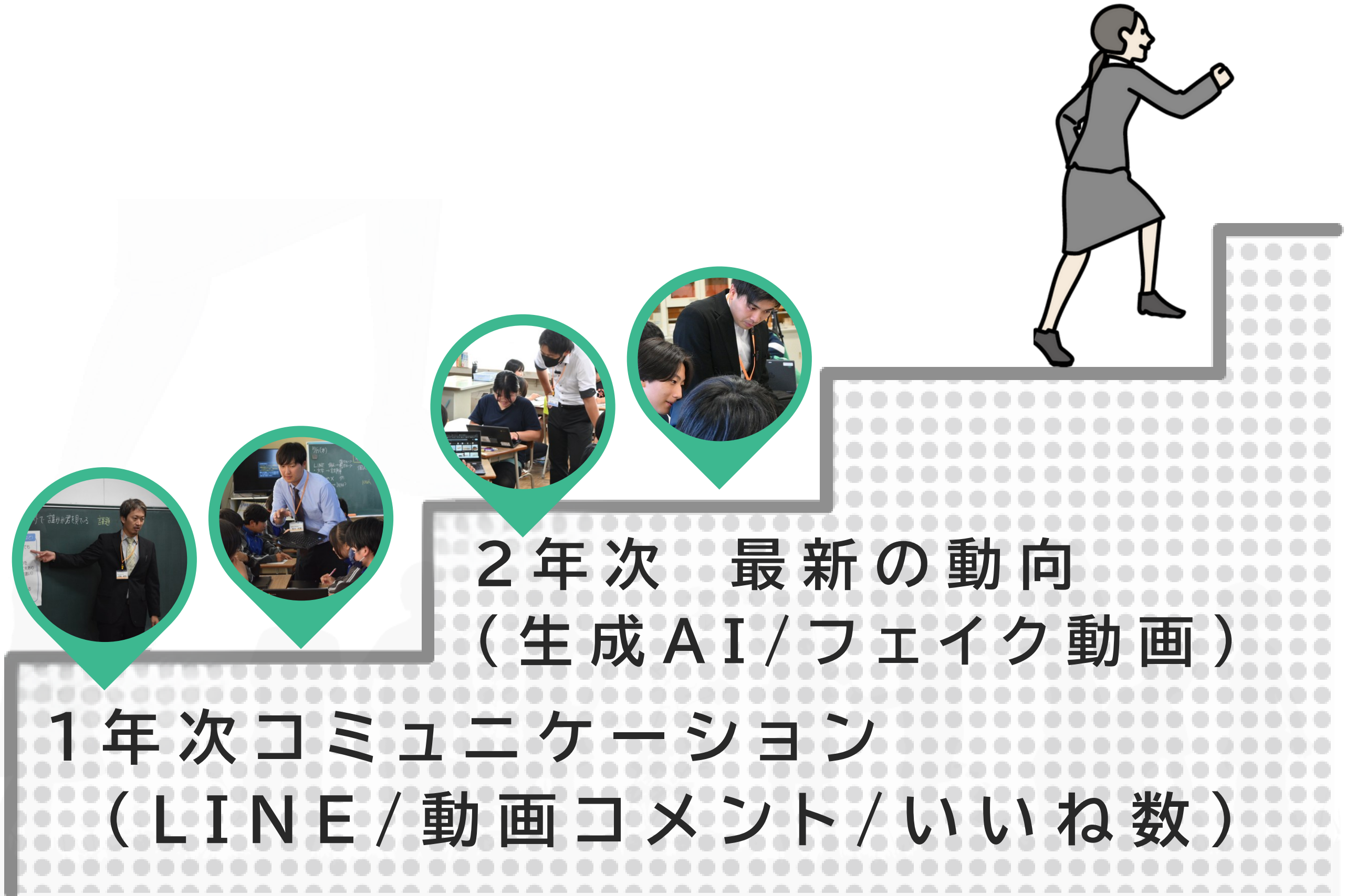
発達段階

既に子どもは
使っている

教科の特性

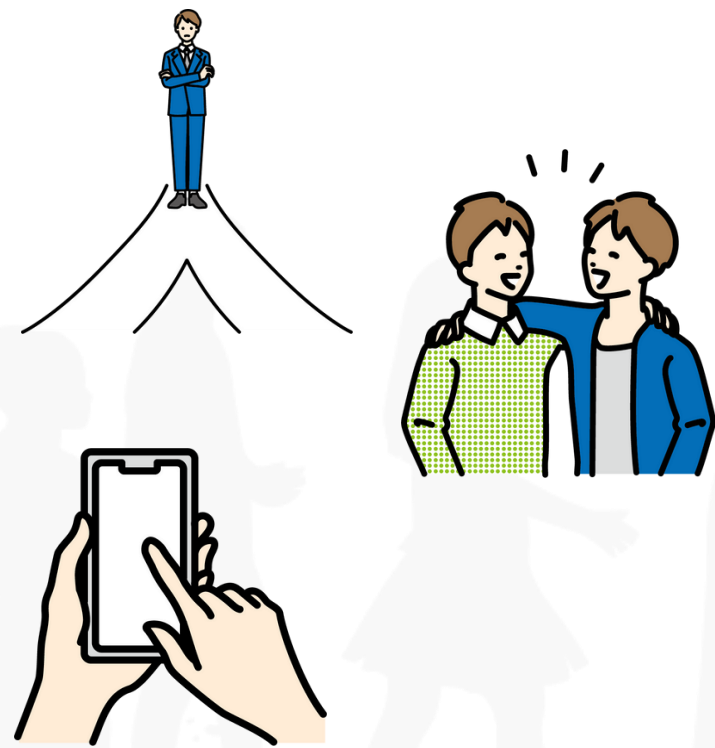
教育の動向
北海道の傾向

十勝の実態
問題意識



情報活用能力という
資質・能力は
もちろん！

デジタル社会を生きていく
デジタル社会を創っていく



より広い捉え方をする必要性

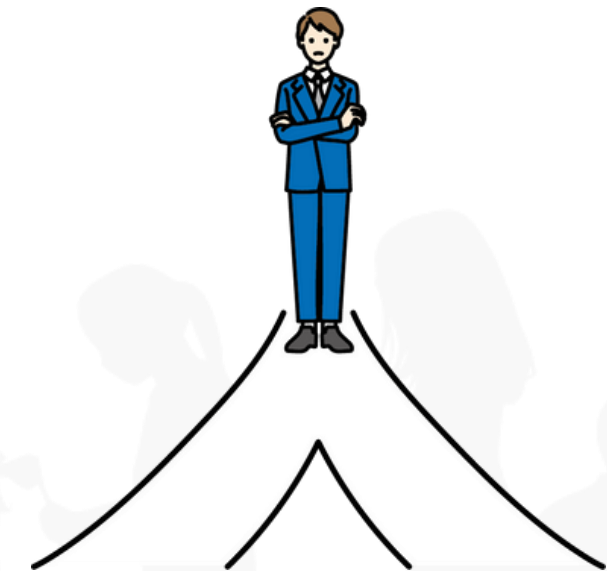
日常モラル
を発揮



情報技術の
仕組みを
理解する



議論する
立ち止まる
意思決定



🐾🐾 追跡アンケート記述(1月)

「調べ学習でAIの回答を自宅の本で確かめたら、微妙に内容が違く、比べて確かめた。」

「生成AIで作られたフェイク動画のニュースを見て、勉強してよかったと思った。」

「日常生活でも、SNSでも言葉遣いを気を付けるようになった。」

学校生活・家庭生活
で生かす姿

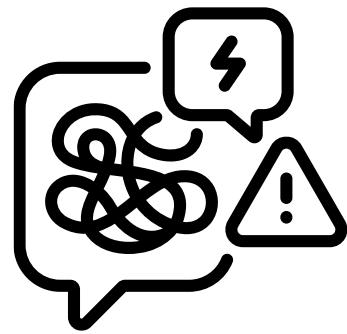
気持ちの継続

行動変容

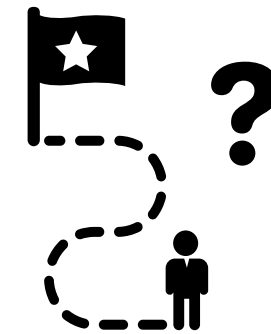
主体性

成果





1 回では力はつかない
授業デザインの難しさ



どの学年で？
何をすれば？

課題



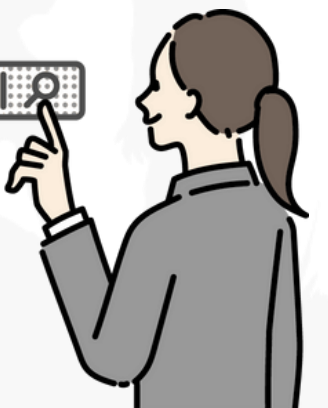
2 か年研究 全体を通して

教科\学年	小1				小2				小3				小4				小5												小6												中1												中2												中3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
国語																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			</

道教委作成の「学習活動の視点から見た情報活用能力一覧(参考例)」を参考に作成

データは

十勝教育研究所



実態交流について



04



『各校における 情報モラル教育について』



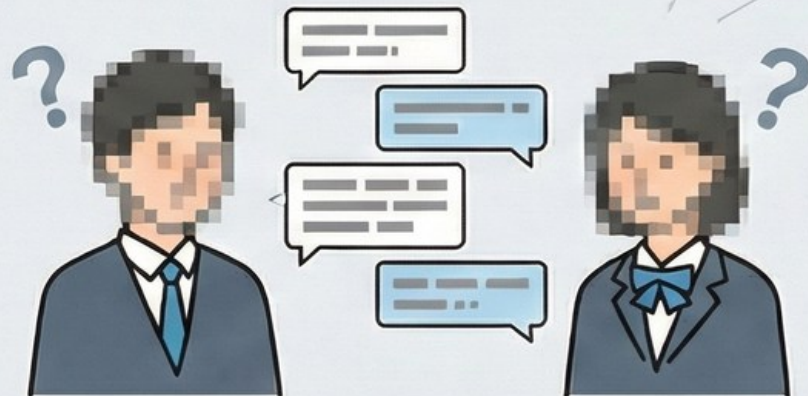
デジタル社会を生きる力を育む：他者を尊重し、責任ある行動へ導く教育研究

課題：デジタル時代の教育現場

ICT活用には、指導力や情報モラル教育など多くの課題が存在。視力低下や情報の信頼性、機器トラブルへの不安も指摘されています。



「画面の向こうにも人がある」という意識の希薄化。文字中心のやり取りが、他者への配慮を難しくさせています。



解決策：研究が提示する2つのアプローチ

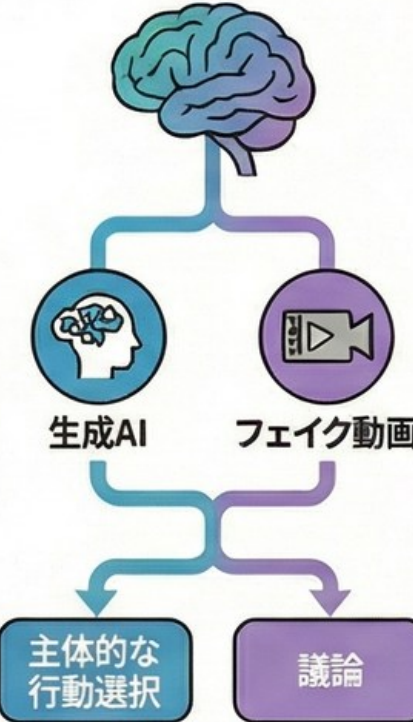
アプローチ1：
教科横断的な
授業デザイン



教科横断的な
授業デザイン

事前アンケートで実態を把握し、国語や理科など各教科と特別活動を連携させます。

アプローチ2：
意思決定に
つながる学習展開



意思決定
につながる学習展開

生成AIやフェイク動画などの題材を使い、体験や議論を通して主体的な行動選択を促します。

成果：子どもたちの確かな成長

情報を鵜呑みにせず、多角的に確かめる姿勢が向上。

「本当か確認するようになった」

「相手への言葉違いを気をつける」



アンケート調査で、他者尊重の意識が大幅に向上。

授業実践後、友達の意見をしっかり聴く生徒の割合が約3倍に増加しました。



課題項目	事前	事後
友達の意見や考えをしっかりと聴いている	17.9%	56.7%
自分の行動を振り返って次に生かしている	69%	73%